

信頼こそ、
私たちの資産。

Amundi

ASSET MANAGEMENT
アムンディ アセットマネジメント

ハイテク株売りの裏で魅力が増す債券投資



米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げに向けた積極的な姿勢と継続するインフレによる利回り上昇の動きは、ハイテク株など一部のセクターにマイナスの影響を与える反面、債券の魅力が増しています。今後、投資家は、過度にリスクをとることなく、市場の調整局面において過剰に影響を受けた資産や、長期的に強固なファンダメンタルズが見込まれる資産などへの投資を検討する必要があると考えます。

投資の着目点



インフレ抑制を図る中央銀行

中央銀行がインフレ抑制を目指す中、地域間格差は継続し、米国に有利に働くと思われれます。欧州では、欧州中央銀行（ECB）が、経済成長を阻害することなく、かつ、債券市場の混乱を招くことのないよう金融政策の引き締めを図っているものの、その任務はより困難になっています。



国債に買い戻しの時期か

中央銀行による利上げで国債利回りが上昇、債券価格下落の可能性はあるものの、地政学的リスクや景気減速懸念を背景とした安全資産への「逃避」から、利回りは懸念したほどには上がらないとみられます。このため、米国や欧州では国債に対して以前ほど慎重になることなく、柔軟にスタンスを調整する必要があります。



質の高い社債に投資魅力

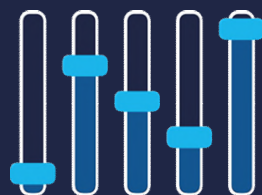
クレジットの質を重視し、米国の投資適格債などはポジティブに見ている一方、よりリスクの高い分野は回避しています。デフォルト率は安定し、企業のファンダメンタルズは健全であるものの、金利上昇がクレジット市場に与える潜在的な影響に注視が必要でしょう。新興国債券は、利回り獲得の可能性があり、バリュエーションも魅力的です。



収益と株価のバリュエーションに警戒感

バリュー株を引き続き重視し、特に景気に左右されにくい分野において高品質な銘柄に着目すべきであると考えます。米国の消費動向が堅調であることから、相対的に欧州よりも米国に投資機会があるとみています。新興国市場では、コモディティ輸出国や国内消費をテーマにした投資に前向きにみています。

リスク調整のために複数のレバーで備える



市場がインフレと経済成長の見通しを見極める間、投資家は分散投資と、十分なヘッジを維持し、実質的なリターンに焦点を当てるべきであるとみています。これには、国債に柔軟に対応し、コモディティ（例：原油）や金など、高インフレ時に有利なセクターへ投資資産を割り振ることで可能となるでしょう。株式では、全体的に慎重なスタンスの中で、高品質なバリュー株に投資魅力があるとみられます。投資適格債についても、株式と同様に、米国など経済成長圧力に強く、消費が堅調な地域を選好する必要があるとみています。最後に、新興国債券にも収益機会があるものの、銘柄選択が重要であると考えます。

当資料のご利用に当たっての注意事項等

- ・ 当資料は、情報提供を目的としてアムンディ・アセットマネジメントの作成した資料をもとに、アムンディ・ジャパン株式会社が翻訳した資料であり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報をもとに作成されていますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- ・ 当資料の中で記載されている内容・数値・図表・意見・予測等は、当資料作成時点のものであり、将来の市場動向、運用成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。

アムンディ・ジャパン株式会社
金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第350号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会